

入札監視委員会定例会議議事概要

開催日及び場所	平成29年 8月24日(木) 豊田講堂特別会議室	
委員	委員長 玉田 斎 (弁護士) 委員 長谷川 周義 (公認会計士) 委員 小川 隆文 (不動産鑑定士) 委員 熊田 一充 (名古屋大学監事)	
審議対象期間	平成28年 7月 1日 ~ 平成29年 6月30日	
抽出案件(合計)	20 件	(備考) 今回の審議対象期間においては、再苦情の申立て及び同審議依頼はなし。 <抽出案件> 名古屋大学 6件 静岡大学 2件 浜松医科大学 2件 三重大学 2件 岐阜大学 2件 豊橋技術科学大学 2件 愛知教育大学 2件 名古屋工業大学 2件 合計 20件
工事(小計)	13 件	
一般競争入札(政府調達に関する協定対象工事)	2 件	
一般競争入札(上記を除く)	9 件	
工事希望型競争入札	2 件	
通常指名競争入札	0 件	
随意契約	0 件	
設計・コンサルティング業務(小計)	7 件	
公募型プロポーザル方式	0 件	
簡易公募型プロポーザル方式	0 件	
簡易公募型プロポーザル方式(拡大)	5 件	
標準型プロポーザル方式	0 件	
一般競争入札	1 件	
随意契約	1 件	
委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問	回 答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	特になし	

※ 委員からの意見・質問、それに対する回答等はできるだけ詳細に記入すること。

質 問	回 答
<p>1. 審議対象工事及び設計・コンサルティング業務の抽出結果について (担当委員より説明) ・特になし</p>	
<p>2. 建設工事及び設計・コンサルティング業務に関する入札・契約手続について ・前年度からの改正点があれば説明いただきたい。</p>	<p>・建設工事においては総合評価落札方式の見直しがなされ、簡易型(拡大)が平成28年度から廃止され、実績評価型が平成26年4月から実施されているところではあるが、加算点の評価項目「企業の信頼性・社会性」に、平成29年度から「ワークライフバランスの推進」が加わった。</p>
<p>3. 名古屋大学において発注した建設工事及び設計・コンサルティング業務について ・特になし</p>	
<p>4. 指名停止等の措置状況について ・特になし</p>	
<p>5. 再苦情処理会議への申立状況について (再苦情処理については申立がなかった旨を報告)</p>	
<p>6. 建設工事及び設計・コンサルティング業務における抽出案件の審議(名古屋大学) (1) 工事 一般競争入札方式(政府調達に関する協定適用対象工事) 【(東山)実験研究棟(工学系)新営その他工事】 ・予定価格を下回っている業者が1社のみであり、その他の3社が予定価格を超過している。昨今の入札では、予定価格を下回る業者が少ないことは、よくある事なのか。何か事情があるのか。 ・施工体制確認型は、昨年試行段階と聞いていたが、未だに試行段階なのか。 ・施工体制確認型は、低入札調査における大学側及び業者側の事務的負担が減るメリットがあるということによいか。また、施工体制確認型を取り入れたことによるデメリットはあるか。</p>	<p>・入札の状況は様々であるが、全国的な状況としては、東日本大震災が発生した後、急激な技術者の不足及び資材価格の高騰という事態があり、全国の国立大学法人における入札の不調・不落の割合が14%程度と比較的高い割合であった。しかし、最近では13%程度に下がってきており、オリンピック需要も落ち着いてきていると感じられるため、今後は予定価格内に収まる業者が増えると考えられる。 ・未だ試行段階である。 ・低入札の重点調査となった場合には、業者は膨大な根拠資料を提示し、工事可能であることの証明を細かくしていく必要がある。施工体制確認型を選択し、実施することにより、不当に安い金額での入札を排除することが可能となる。また、大学側の審査及び業者の膨大な書類提出の負担を軽減でき、適正な入札の執行が可能となる。デメリットとしては、施工体制を確認する時間が数日必要となるため、開札日に落札とならないことである。</p>

質 問	回 答
<p>一般競争入札方式(政府調達に関する協定適用対象工事を除く) 【(鶴舞)図書館・学生食堂等屋上防水改修工事】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低入札調査を実施しているが、低入札調査の項目はどのようなものか。 ・落札した業者は、静岡県の業者であり、地理的に不利な印象を受けるが問題は無かったのか。 ・低入札の場合に、工事完了後に施工上の検査は実施されるのか。 ・予定価格と実際の入札価格との差の要因は何だったのか。 ・下請け会社の人件費を圧縮させるようなことが無いかどうかの調査はしているのか。 ・契約金額の妥当性については、どのように確認しているのか。 ・落札した業者は名古屋大学における施工実績があるが、名古屋大学での落札経験が、落札に有利に働くようなことはないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・(1)その価格により入札した理由(2)契約対象工事附近における手持工事の状況(3)契約対象工事に関連する手持工事の状況(4)契約対象工事箇所と入札者の事務所、倉庫等との関連(地理的条件)(5)手持資材の状況(6)資材購入先及び購入先と入札者の関係(7)手持機械数の状況(8)労務者の具体的供給見通し(9)過去に施工した公共工事名及び発注者(10)経営内容(11)(1)から(10)までの事情聴取した結果についての調査確認(12)(9)の公共工事の成績状況(13)経営状況(取引金融機関、保証会社等への照会を行う。)(14)信用状況(建設業法違反の有無、賃金不払いの状況、下請け代金の支払遅延状況、その他)(15)その他必要な事項である。 ・契約対象工事附近に請け負っている工事が複数存在しており、問題は無かった。 ・資材の状況に問題が無いか、施工工程に問題が無かったかについては工事完了後だけでなく、工事期間中、大学側で監督職員を配置し、常時確認している。 ・名古屋市内に他の請負工事が存在したため、一般管理費を低く抑えることができたこと、工事車両の導入先を絞り込んだことにより経費節減ができたこと、協力会社に防水工事を専門とする作業員が多く在籍していたため、工事期間を短縮することができたことである。 ・施工開始の段階では施工体制の確認として下請け、二次下請けも含めて確認している。 ・契約金額の内訳として、直接工事費と共通費があり、直接工事費の細目に科目という項目がある。この科目について、予定価格の積算との差が大きな科目について契約業者にヒアリングをする形式で確認をしている。 ・有利になるようなことはない。
<p>【(医病)患者用立体駐車場新営その他工事】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別高度な技術がいるような工事には思えないが、入札業者が少ない。何か理由はあるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・確かに高度な技術が必要でもなく、ゼネコンでも可能な工事ではあるが、入札者が少なかった。理由は特にない。

質 問	回 答
<p>・標準型の施工体制確認型と実績評価型の施工体制確認型の違いは何か。</p> <p>・業者住所が石川県となっており、地理的にも不利な印象を受けるが、問題はないか。</p>	<p>・標準型は政府調達で金額以上で適用され、実績評価型は政府調達で金額未満であり、特別な技術が必要ではない工事に適用される。</p> <p>・記載されている業者住所は本社所在地であり、支店・営業所が近隣にあるため問題ない。</p>
<p>【(東山)農学部A館(西)昇降機設備更新工事】</p> <p>・工事希望型競争入札となったのは、エレベーター業者の数が少なく、限定されているからなのか。</p> <p>・入札が同額になった場合はどうなるのか。</p>	<p>・その通りである。東海北陸地区で実績のあるエレベーター業者は約20社である。</p> <p>・抽選となる。電子入札システムを使用して自動的に抽選される。</p>
<p>(2)設計・コンサルティング業務 簡易公募型プロポーザル方式(拡大)</p> <p>【(東山)総合研究棟(工学系)新営その他設計業務】</p> <p>・技術提案書の評価の中で、ウェイトの高い評価項目は何か。</p> <p>・設計・コンサルティング業務の評価委員は全員内部委員なのか。</p>	<p>・課題についての提案(的確性・独創性・実現性)である。</p> <p>・全員内部委員である。</p>
<p>随意契約方式</p> <p>【(東山)ITbM渡り廊下設計業務】</p> <p>・契約した業者は、どのように決定したのか。</p>	<p>・複数の業者から見積書を提出させて、決定した。</p>
<p>【その他】</p> <p>・入札に参加した業者が、全体的に少ない印象がある。技術者の配置が難しい等の理由からなのか。</p> <p>・入札に参加する業者が無く、不調になる場合もあるのか。不調の場合はどのような対応をしているのか。</p> <p>・工事の発注については、1年を通じてまんべんなく実施できているのか。</p>	<p>・その通りである。他の工事を実施していて、専任の技術者の配置が難しいというのが主な理由である。</p> <p>・今年度については不調は無かったが、前年度以前については不調があった。対応としては、日程を変更して再度公告したり、条件を緩和したりしている。Cランクの業者だけだと数が集まらないため、2ランク上(A・Bランク)までを対象として公告している。</p> <p>・予算の性質に左右される。国からの補助金の場合、単年度会計であるため、年度内に完了しなければならない。この場合、4月に予算示達があつてから設計を始めて8月頃に工事が集中する傾向がある。大学の自主財源であれば比較的融通が利くため、価格の安い時期に発注することも可能であるが、大学の事情として夏休み期間中での工事依頼が多いということがある。</p>

質 問	回 答
<p>7-1. 建設工事及び設計・コンサルティング業務における抽出案件の審議(静岡大学)</p> <p>(1) 工事 一般競争入札方式(政府調達に関する協定適用対象工事を除く)</p> <p>【静岡大学(城北)講義棟新営その他工事】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価委員は学内委員のみか。 ・評価委員会の議事録を残しているか。 ・施工体制評価点というのは、施工体制の調査をして評価した点数ということか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・総合評価落札方式の実績評価型を採用しており、機械的に評価ができるため、学内委員のみである。総合評価落札方式の型によっては、学識経験者を含む学外者を含めて審議する場合もある。 ・議事録を残している。 ・その通りである。入札実施後に予定価格の範囲内の業者に対しては全て施工体制の調査を実施し、評価点を加点する(低入札となった業者に対しては、施工体制の調査項目が変わる)。
<p>(2) 設計・コンサルティング業務 簡易公募型プロポーザル方式(拡大)</p> <p>【静岡大学(城北)附属図書館分館・学生支援施設新営その他設計業務(Ⅱ期)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術提案書評価表の中で、「業務の実施方針／課題についての提案」の評価のみ、裁量の余地がありそうだが、どのように評価しているのか。 ・委員は学内の委員のみか。 ・提案内容によって、点数に大きな差ができるのか。 ・実績評価を重視すると、業者が限定されやすく、提案を重視すると評価が難しいところはあるが、評価の配点は、その都度決めるのか。 ・他機関では「業務の実施方針・課題についての提案」が7割、その他が3割と配点しているところもあり、配点をどのようにするかも大きなポイントであるため、他大学を参考にしているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・過去の実績を目安として、原案を作成して評価委員会に附議している。 ・学内の4名の委員である。工事とは別に、設計・コンサルティング業務のための委員会を設置している。 ・差ができることはある。提案を検討するにあたり、本学まで調査に訪れ、周辺状況等を考慮した適切な提案は、点数が高くなる傾向がある。 ・入札案件ごとに、第1回目の評価委員会で決定する。 ・他大学の状況を調べさせてもらい、学内で検討する。

質 問	回 答
<p>7-2. 建設工事及び設計・コンサルティング業務における抽出案件の審議(浜松医科大学)</p> <p>(1) 工事 一般競争入札方式(政府調達に関する協定適用対象工事を除く)</p> <p>【浜松医科大学基幹設備(排水設備等)工事】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・落札率が高い傾向がある。不落随契も多いように感じるが何か理由があるか。 ・発注時期を改善する(7月～9月以外にすること)は出来ないのか。 ・不落随契の場合に、実績評価型の評価点が低くても契約はできるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・7月～9月が発注時期となるため、地方自治体等の工事と重なり、工事技術者を配置することが比較的難しく、従って入札参加業者が少ない傾向がある。 ・国の補助金ではなく、学内予算での発注であれば可能である。 ・評価項目の中で、施工実績なし等、一つでも「欠格」の評価があると契約はできない。
<p>(2) 設計・コンサルティング業務 簡易公募型プロポーザル方式(拡大)</p> <p>【浜松医科大学基礎臨床研究棟改修設計業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術提案書評価表の評価項目別の配点は、設計業務毎に、その都度決定するのか。 ・評価点数は、評価委員の合議で決定しているのか。 ・提案書の資料は、どれくらいの量なのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・評価項目別の配点は一律である。 ・合議で決定している。 ・A4で2枚程度である。
<p>7-3. 建設工事及び設計・コンサルティング業務における抽出案件の審議(三重大学)</p> <p>(1) 工事 一般競争入札方式(政府調達に関する協定適用対象工事を除く)</p> <p>【三重大学(医病)基幹・環境整備(屋外環境整備)工事】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価結果表の20点の加算点のうち、10点が「同種工事における主任技術者としての工事成績(工事種別の過去4年間平均)」とされているが、入札に参加した2社がともに0点となっている。この4年間の期間は短いのではないか。4年間の期間を拡大する等の変更は可能か。 ・工事成績(工事種別の過去4年間平均)の項目が0点であっても、欠格ではなく契約していることを考えると、この評価項目に高い点数を配分する意味があるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実績評価型において、技術者の工事实績を重視しているためこのような配点とした。期間は文部科学省の「総合評価落札方式の実施方針」に則っているが変更することは可能である。 ・今後、期間の変更も含めて検討したい。
<p>(2) 設計・コンサルティング業務 一般競争入札方式</p> <p>【三重大学(病)外来・診療棟5階改修設備設計業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロポーザル方式ではなく、一般競争入札方式を採用したのは、設備設計であるため、提案に差が出ないと判断したからなのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・設備設計であり、さらに改修工事であるため、提案に差が出ないと判断した。

質 問	回 答
<p>・プロポーザル方式の場合に、評価項目の配点は、設計毎に決定するわけではなく、一律に決められているのか。</p>	<p>・一律に決められている。</p>
<p>7-4. 建設工事及び設計・コンサルティング業務における抽出案件の審議(岐阜大学) (1) 工事 一般競争入札方式(政府調達に関する協定適用対象工事を除く) 【岐阜大学(柳戸)工学部校舎(B・C棟)Ⅳ期改修工事】 ・入札価格が一番低い業者が、総合評価落札方式(実績評価型)の評価の結果、評価点が一番低くなっているが、どのような理由なのか。 ・予定価格以下の業者に対しては全て施工体制を確認するのか。 ・低入札基準価格は、どのように設定しているのか。 ・低入札基準価格以下の場合に、施工体制の確認がある旨を、業者は理解しているか。</p>	<p>・入札価格が低入札基準価格以下であったため、施工体制を確認する資料の提出及びヒアリングを実施した。その結果、点数が低くなった。 ・低入札基準価格以上であれば、資料の提出及びヒアリングは省略し、施工体制の評価点については満点としている。 ・国土交通省の定めに基づき、予定価格の9割～7割で設定している。おおよそ9割程度である。 ・入札時の説明資料として提示している。</p>
<p>(2) 設計・コンサルティング業務 簡易公募型プロポーザル方式(拡大) 【岐阜大学(柳戸)スマート金型開発拠点棟新営設計業務(建築)】 ・特定結果書は○×形式であるが、技術提案書を提出した業者に対して点数は通知するのか。 ・技術提案書で特定された業者と契約する流れになるのか。</p>	<p>・点数については業者に通知していない。点数は業者名を伏せた形で、技術提案書を提出した業者全体として公表している。特定された業者に比べて、どの項目が劣っているのかについては業者に通知している。特定された業者の技術提案書は閲覧可能にしている。 ・特定された業者とは随意契約となるため、見積もり合わせを複数回実施した後に契約となる。見積もり合わせの結果、不調となった場合には次順位業者と契約となることもある。</p>

質 問	回 答
<p>7-5. 建設工事及び設計・コンサルティング業務における抽出案件の審議(豊橋技術科学大学)</p> <p>(1) 工事 一般競争入札方式(政府調達に関する協定適用対象工事を除く) 【豊橋技術科学大学図書館改修工事】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入札に参加した2社のうち、1社が辞退しているが、何か理由があるのか。 ・辞退した業者についても評価点が付与されているため、評価は実施したということか。 ・入札参加者が少ないが、通常の図書館改修工事か。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特に理由はない。 ・競争参加資格の確認に関する申請書及び資料の提出があったため、評価を実施したが、入札前に辞退した。 ・通常とは違い、使い方を検討するための委員会を学内に立ち上げた。2階～3階部分は通常の改修工事であるが、1階部分はアクティブラーニングスペース等のフリースペースを設ける改修工事である。
<p>(2) 工事 工事希望型競争入札方式 【豊橋技術科学大学B棟エレベータ改修工事】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低入札価格調査を実施されているが、ヒアリングにより実施するのか。 ・エレベータのメンテナンスは別契約になるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・先に資料を提出させ、資料に基づいて業者にヒアリングを実施する。 ・別契約である。1台であれば随意契約も可能であるが、本学では保守契約は他のエレベータも包括して契約しているため、包括契約の中に含めていく予定である。
<p>7-6. 建設工事及び設計・コンサルティング業務における抽出案件の審議(愛知教育大学)</p> <p>(1) 工事 一般競争入札方式(政府調達に関する協定適用対象工事を除く) 【愛知教育大学図書館改修工事】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・改修工事の目的は何か。 ・落札した業者は施工体制評価点が満点ではないが、低入札価格調査を実施したということか。 ・評価委員は全員学内の者か。 	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化により必要となった改修及び機能改修である。機能改修とはアクティブラーニングスペースを設ける等、部屋の用途変更を目的とした改修である。 ・その通りである。 ・全員学内の者である。
<p>(2) 設計・コンサルティング業務 簡易公募型プロポーザル方式(拡大) 【愛知教育大学図書館改修設計業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価項目の点数の配点は、今回の200点満点の配点が一般的な配点か。 ・評価委員の構成はどのようなものか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一般的な配点である。 ・財務部長、財務課長、施設課長の3名である。

質 問	回 答
<p>7-7. 建設工事及び設計・コンサルティング業務における抽出案件の審議(名古屋工業大学)</p> <p>(1) 工事 一般競争入札方式(政府調達に関する協定適用対象工事)</p> <p>【名古屋工業大学国際学生寮整備事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生寮の建設から管理運営を含めた契約だが、事業計画のような取り決めはあるか。 ・契約金額は一括で支払うのか。 ・PPPの委員会で審議して最終的に業者を決定したのか。 ・国からの補助金は無いのか。また、このようなPPP事業の大学での前例はあるのか。 ・学生からの賃料徴収については、業者が実施するのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・要求水準書を作成しており、要求水準書の中に、設計、施工、維持管理、運営等に関する細かい水準の記載がある。その水準を全て満たしていただく約束での入札となる。 ・事業費は分割払いで、すべて学生からの賃料で支払う。 ・その通りである。 ・国からの補助金は無い。大学での前例はある。 ・学生の賃料徴収や督促の実施主体は大学である。
<p>(2) 工事 一般競争入札方式(政府調達に関する協定適用対象工事を除く)</p> <p>【名古屋工業基幹整備(中央ポンプ設備改修)工事】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入札参加者が少ないが、特殊な工事なのか。 ・建築だと技術者の確保が難しい印象があるが、設備改修工事でも技術者の確保は難しいのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特に難しい工事ではないが、結果として入札参加者が少なかった。工事期間における技術者の確保が難しい等の理由があるのかもしれない。 ・官公庁関係の入札については資格者の設定をするため、確保が難しい状況は考えられる。